



2022 年度 活動報告書

ANNUAL REPORT



理事ビジョン会議の様子

理事長あいさつ



市瀬 拓哉

2022 年度は法人設立 20 周年でした。理事・スタッフ間でビジョン会議を重ねる中で歴史を振り返り、これまで携わってきた会員や理事・スタッフ、そして利用者も含めた関係者の皆様が育ててきた歴史の上に現在の地球デザインスクールが成り立っていると実感しました。「地球で生きていくために、自分をデザインする場」という核が浮かび上がり、改めて組織の社会的価値などを見直し始めた年でもありました。

丹後海と星の見える丘公園においても、食事やしつらえをリニューアルした新しい宿泊スタイル「けとはれのあわい」がスタートし、今まで以上に利用者の満足度の向上や私たちが伝えたかった価値を提供できる機会ができたと思います。20 年という節目を迎え、新たな時代に向けて進化していきます。

2022 年度のあゆみ

	2022 年									2023 年			
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
イベント・プログラム 公園事業	<ul style="list-style-type: none"> ・うみほし DAY ・星空観望会 ・アースデイ丹後 2022 ・アースデイ 京都 ・星空観望会 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみほし DAY ・星空観望会 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみほし DAY ・星空観望会 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみほし DAY ・星空観望会 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみほし DAY ・星空観望会 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみほし DAY ・星空観望会 ・里山ラン 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみほし DAY ・うみほし警備隊 ・星空観望会 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみほし DAY ・うみほしフォトフェスタ ・里山文化案内人養成講座 ・星空観望会 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみほし DAY ・うみほし DAY ・若手人材育成のための 自然保護研修 ・星空観望会 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみほし DAY ・醤油絞りデイ 			<ul style="list-style-type: none"> ・丹後ですこいぜ ・うみほし DAY ・星空観望会
通年事業 トピックス	プログラム実施者数									延べ 2,939 名			
	宿泊オプションプログラム									延べ 96 名			
	モニタリングサイト 1000									年 8 回の植生調査			

地球デザインスクール 20年のあゆみ

地球デザインスクールは2022年に法人設立20周年を迎えました。この1ページには載せきれないほどのできごとやプロジェクトがありました。ここでは、少しだけ地デスの20年間のあゆみを懐かしい写真とともに振り返ります。

京都府立丹後海と星の見える丘公園 開園

「自然との共生」、「手づくり」、「環境育成の体験フィールド」をテーマとした公園の指定管理業務を受託。



丹後デザインプロジェクト スタート

地元の高校生を対象に地域の魅力再発見を行うプロジェクトを実施。京都市内でのアンテナショップや公園での食堂イベント、稲作を高校生主体に活動。



地球デザインスクール 開催

大学がない丹後地域にも学びの機会を。3日間に渡り、大学教授や環境教育のプロを招いた講座を開催。



宮津・竹の学校 /iBart 開催

宮津市と共同で放棄竹林問題解決に向けた取り組みを実施。海外アーティストを招聘したiBartや竹の手ぼうき、竹を使った風鈴作りなどを行った。



2002

法人設立

「地球環境の破壊を防ぎ、後世に明るい未来を伝え残すこと」を団体の目的に設立しました。

2003

2004

2005

2006

地球デザインスクールの活動拠点であった波見分校

2007

ガキ大将キャンプ スタート

海の、畑の、夏の、丹後の、といくつものシリーズが誕生した「ガキ大将になろう」キャンプがスタート。

2008

2009

2010

2011

京都自然塾 オープン

脚本家である倉本聰氏が主宰する「C・C・C 富良野自然塾」をモデルとした環境教育プログラムを導入。

2012

2013

2014

2015

アースデイ丹後 スタート

「地球のために行動する日」を丹後から。丹後の自然を満喫するイベントを毎年開催。(コロナによる中止もあり。)

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

けとはれのあわい スタート

「暮らすようにすこす公園」をコンセプトに滞在を通して地デスの想いが伝わる料理や過ごし方を提案。



地球で生きていくために、自分をデザインする場

地球は数多の生命、種々の自然現象や多様な気候風土が織り合わさっています。その上に人が暮らし、その土地らしい歴史や文化を育んできた固有の地域に私たちは今、生きています。環境や社会は常に移り変わり、ことに現代はその変化がめまぐるしい時代です。私たちは自らの「生き方」という決まった答えのない問いと向き合っています。NPO 法人地球デザインスクールは、地球や地域、人、自然の関係性を感じ、学び、自分の生き方をデザインする場と機会を提供します。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令等による閉園もなく、アースデイ丹後などのイベントを実施することができました。多くの来園者と関わることができ、少しずつ日常に戻ってきたうみほし公園でした。

人の生活が日常を取り戻す中、園内の元水田だった湿地環境は草地や雑木林に遷移し、多くの水環境・湿地環境が年々無くなりつつあります。2022年度は元湿地の再生に取り掛かかり、参加者と一緒に草を抜き・刈り、木を伐り、土を掘り、手作業で湿地の復活に向けて動き始めました。



園長
野木 俊宏

プログラム

withコロナの2年の間、休止していた里の楽校(食の体験)を再開し、幅広い体験が選択可能になりました。2022年度の特徴として、「SDGs」学習による「海ごみ学習」のニーズが高まり、出前講座のワークショップやオンラインでの講義を未就学児～小学生を対象に複数回実施しました。

森を守り、美しく豊かな海を守るためにプログラムに参加した人が各々の日常生活へ活かせる気づきや学びをこれからも提供していきます。



環境教育プログラム参加者数



2089名

前年度対比：130% (1605名)

プログラム
実施の学校数

36校

前年度対比：95% (38校)

イベントに参加した人数



1138名

前年度対比：536% (212名)

出張プログラム参加者数



331名

2022年度・公園に宿泊した人数



1999名

2022 年度実績

[環境教育プログラム]

- ・森の楽校：1,062名
- ・海の楽校：552名
- ・里の楽校：115名
- ・京都自然塾：360名

[イベント開催]

- ・アースデイ丹後：600名
- ・星空観望会(全10回)：316名
- ・うみほしDAY(全9回)：188名
- ・里山ラソン：34名

公園整備



公園サポーターを中心に地域の方にいただいた「グラジオラス」栽培に挑戦しました。

宮津天橋高等学校建築科のインターンシップでは、花壇を新しく整備し、彩りある公園づくりを行いました。13回目となる海洋高等学校の土木実習では、以前作成したデッキまでのアプローチの整備と大地の天文台等に新たにベンチを設置しました。

魅力あるうみほし公園を参加者と一緒にこれからも作っていきます。

生態系保全



オス

メス

今年度も京都府登録天然記念物であるハッチョウトンボの発生を確認することができました。個体数調査の結果、個体数が減少していることが判明。湿地の水の流れを変えるなどの整備を行いました。

モニタリングサイト1000の植生調査は5年目に入り、こどもの森周辺の植生調査を行いました。次の5年間も調査地として申請しており、引き続き多様な生態系の保全とデータの蓄積に取り組みます。

お正月、桃の節句に端午の節句、神社の祭礼、お彼岸やお盆、冠婚葬祭。お餅をついたり、お赤飯を炊いたり、ごちそうが並んだり、家族や親族とともに、あるいは地域の人たちとともに飲んだり食べたり踊つたりの特別な日「ハレの日」。普段の質素な暮らしの慰労であったり、たまの楽しみであったりしたハレの日。

今を生きている私たちの暮らしは毎日ごちそうが並ぶハレの日の連続かもしれないけれど、仕事や学校、人間関係、たくさんのタスクや責任など、ハレの日を過ごしていても心は疲れているような。祭りじゃなくていいけれど、丁寧にハレの日を過ごして、日常（ケ）が豊かになりますように。そんな思いを込めてうみほしの空間、時間、食事、体験を整えてきた 2022 年度。一つ一つを丁寧に、大切に。新しい過ごし方の提案「けとはれのあわい」が動き出した 1 年でした。



事務局長
清水 睦

宿泊

普段、何気なく過ごす一日。その中で、ふと気づくと時間や季節、自然の移ろいを感じる瞬間を部屋名にしました。宿泊された方にも、それらを気づいてもらえるような滞在を提供できるよう、各部屋のしつらえを変更し、観光や体験だけではなく、旅の過ごし方を提案できたのではないかと思います。

[こもれび (和室)]
リビングにある大きな窓からは里山の風景とともに、木漏れ日が差し込みます。木漏れ日には、リラックス効果があるとされています。



食事



身体によい、心によい、環境によい、関係性がよい、4 つのよいを大切にした食事を提供しました。地元のもの、旬のものを中心にしながら、なぜここで使うのかを語ることができるもの、発酵など「時間」が調理してくれるものを取り入れています。初めて「手前醤油」づくりにも挑戦しました。



[朝食]

体験

焚き火や星空観察、木工、お絵描きなど、どれでも、いつでも好きなタイミングで体験できるプログラムを用意しました。大人も子どもも初めてのことにチャレンジしたり、時間を忘れて没頭したり、それぞれの時間を過ごせる機会づくりを行いました。

[焚き火]
揺らめく炎、薪がはぜる音、空を舞う火の粉。日常の喧騒を忘れて、心安らぐひと時を提供。薪は公園で除伐した木を利用しています。





徳本 英明

2022年度は行政や市民団体との連携に加え、地球デザインスクール会員のそのだ 藺田登氏との共同プロジェクトが始動しました。宮津市や京丹後市からの受託事業もあり、地球デザインスクールが長年続けてきたことが浸透、拡散してきていることを確認できた一年でもありません。

また、会員向けのメールマガジンの発行を再開しました。今後は、地球デザインスクールの活動について発信できる場を増やしていき、地球のデザインに学び、地球で生きていくために自分もデザインできる機会づくりを作っていきたいと考えています。

マツタケ再生プロジェクト

地球デザインスクールの活動開始時から関わっていただいてる藺田登氏の指導の下、丹後海と星の見える丘公園内でマツの調査を実施。松脂の発生具合や土壌検査を行い、マツタケが発生する可能性があるかを現地調査しました。

元々、公園内にもマツタケの発生があったと地元の方から聞いています。里山の象徴だったマツタケですが、現在は準絶滅危惧種に指定。今一度、波見の里山にマツタケが戻ることを目指します。



受託事業・講師依頼



湿地環境の保全整備

京都府内各地における生物多様性保全活動を持続可能なものにするため、府内在住の大学生などの若年層を主な対象に、府北部地域の生物多様性とその保全活動について考え学ぶ機会を提供しました。

1泊2日の行程の中で、アベサンショウウオの生息地などでフィールドワークや保全団体との交流会、園内にて草刈りや立木の伐採、土を掘り起こすなど湿地環境を取り戻す活動を行いました。

京都府から「生物多様性・再生可能エネルギー理解促進業務委託」を受け、普及啓発のワークショップを計3回実施しました。生物多様性では冬芽観察や厳しい冬を生き抜く生き物の生き方を参加者らに伝えました。また、再生可能エネルギーや化石燃料などについての講義に加えて、実際に再生可能エネルギーを使って楽しむ体験を用意し、丹後の豊かな自然とエネルギーを実感していただきました。



薪を使った足湯体験



里山文化案内人養成講座



ガイドウォーク@京丹後市

京丹後市から「京丹後市里山文化案内人養成講座」、「京丹後市青少年健全育成会の自然体験事業」の講師依頼をいただきました。

里山文化案内人養成講座では、リスクマネジメントやプログラムづくりの講習を実施。青少年健全育成会の自然体験事業では「秋さがし」と銘打って24名の小学生にガイドウォークと工作づくりを行いました。

人材育成

京都府内の大学生や丹後地域の高校生を中心に園内整備をしていただきました。過去にキャンプ事業に参加をした小学生が高校生になり、ボランティア活動としてプログラム補助やモデル撮影に協力してくれました。

ボランティア 延べ52名(宮津天橋高等学校・峰山高等学校・海洋高等学校、他)

インターンシップ 延べ56名(京都府立大学、京都府立林業大学校、京都府立宮津天橋高等学校)



宮津天橋高等学校建築科インターンシップ



アースデイ in 京都 2022 ボランティア



ボランティアモデル撮影

研修・視察

- ・新規事業のための先進施設視察(全10施設)
- ・薬草ワークショップ
- ・マネジメントゲーム研修
- ・マツタケ生産振興会研修会

地域とのつながり

地球デザインスクールの活動に賛同・共感いただいた方から金品や活動でのご支援を受けました。(五十音順、敬称略)

ご寄付

奥谷 三穂、小嶋 保徳、小林 秀美
碓 紀久子、松田 宏、山添 晶子

ボランティア活動

嶋田 勇、菌田 登、塚本 海斗

今年度も嶋田氏に協力いただいたハッチョウトンボ調査が新聞社3社に取り上げられました。

活動に参加する



ハッチョウトンボの湿地整備



生態系管理のための森林整備

うみほし公園には森林、湿地、草原、様々な環境があり、豊かな生態系があります。この多様性を守る活動を一緒にしませんか。興味がある方はお気軽にご連絡ください。

活動の様子

日々の活動の様子は、SNSにて随時更新しています。ぜひご覧ください！(いいね!&フォローもお待ちしています!)



#うみほし
#umihoshi

アカウント名

地球デザインスクール



アカウント名

京都府立 丹後海と星の見える丘公園



アカウント名

umihoshi9111



アカウント名

@umihoshi9111



2022 年度運営体制

いつでもお気軽にお声かけください！
【かっこ内は職員の担当】

理事: 市瀬 拓哉(理事長) / 奥谷 三穂 / 西原 重樹 / 安田 潤 / 清水 睦(事務局長) / 野木 俊宏(園長)
職員: 太田 征紀(設備) / 徳本 英明(宿泊) / 小島 広(整備) / 倉野 良太(広報)



NPO 法人
地球デザインスクール

〒626-0202 京都府宮津市字大島 496 番地 2

TEL / 070-2315-5050 E-mail / e-ds@e-ds.org HP / http://e-ds.org